

平成30年・大阪支部「春季歴史探訪の会」開催報告

(関ヶ原古戦場跡・彦根城巡り バスツアー)

担当：大阪支部「集いの会」

日時：平成30年4月21日(土) 08:00～19:00

参加者数：36名

内容： 関ヶ原古戦場跡巡り・・・関ヶ原歴史民俗資料館、徳川家康最後陣跡、東首塚、関ヶ原決戦地跡、石田三成笹尾山陣跡を訪問(現地ガイドによる説明)

- ・不破関資料館訪問・・・壬申乱・不破関に関する資料、遺物、ビデオ説明
- ・彦根城訪問・・・彦根城城郭(岡崎支部長による解説)、佐和山(三成居城跡)を眺める

報告：

- ・関ヶ原の戦い後417年が経ち、昨年の岡田准一主演の映画「関ヶ原」などで、関ヶ原の戦いを見直す動きも大きくなる中で、我々の歴史探訪でも関ヶ原古戦場に焦点を当て、今回戦いの地を訪問しました。
- ・関ヶ原町の現地ガイドの方二名が古戦場の説明をされましたので、我々36名は東軍、西軍の2班に分かれて、各ガイドの説明を受けました。東軍、西軍の立場に立って戦闘モードの鋭い質問攻めもありました。
- ・関ヶ原古戦場では徳川家康最後陣跡、東首塚を訪問したあと関ヶ原歴史民俗資料館を訪れて当時の戦闘状況を整理した後で、関ヶ原決戦地と石田三成笹尾山陣跡を訪れ、山上から関ヶ原全体の地理を把握して、当時の戦闘状況を確認しました。
- ・その後訪れた不破関資料館では、さらに古代に遡り、壬申の乱の激戦が同じ関ヶ原で行われたことを確認し、関ヶ原が2度にわたる歴史的に重要な戦いの舞台となったことを理解しました。
- ・最後の訪問地の彦根城は、関ヶ原の戦い後石田三成の居城であった佐和山城を活用して造られた井伊家の拠点であり、城の造りが華麗かつ堅固であることを岡崎支部長の説明で理解できました。また天主閣からは佐和山と琵琶湖が身近に眺められて、この城の立地が非常に良い点も確認しました。
- ・今年放映されているNHK大河ドラマ「西郷どん」では、この関ヶ原の戦いで西軍として参戦し、敵の正面を突破して逃れた島津義弘公を偲んで、子供たちが鎧冑に身をかためて20kmの道のりを駆ける妙円寺詣りが初回に映されました。薩摩ではこのように関ヶ原を忘れない行事が続けられ、結果明治維新の原動力となり、長州藩とともに、関ヶ原の戦いの250年後に西軍の東軍(幕府軍)へのリベンジが行われたことを考えると、歴史の重みと大きな流れを感じさせられました。
- ・次回の2018年秋季歴史探訪は9月29日に予定され、中井正清関連の京都の建築を訪ねます。中井正清は関ヶ原の戦いに西軍工兵隊として参戦し、この戦いでの見事な活躍で徳川家康に認められ、その後家康の京都大工頭として多くの城郭を建築することになります。これらの活躍は名工大の故城戸久名誉教授が研究され、世間に知られることとなりました。今回は名工大と非常に縁のある中井家の京都の建造物を見る企画ですので是非ともご参加下さい。秋には皆さまと京都でお会いできる事を楽しみにしています。



関ヶ原歴史民俗資料館にて



笹尾山石田三成陣跡にて



彦根城にて

(記：横山 誠 K47)